



# IXIL 縦すべり出し窓 オペレータータイプ 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲警告

●ステー取付けねじは $2.5 \pm 0.5N\{25 \pm 5kgf \cdot m\}$ のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

## ▲注意

- 本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
  - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
  - ・指定のスクリー釘で枠を固定してください。
  - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
  - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
  - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
  - ・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。
- ロック調整スペーサーには表裏があります。調整をする際には、必ず「オモテ」という表示が上面にくるように取付けてください。清掃時などに、思わぬケガをするおそれがあります。

### お願い

●障子組立て時に室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

## ■取付け上のおお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

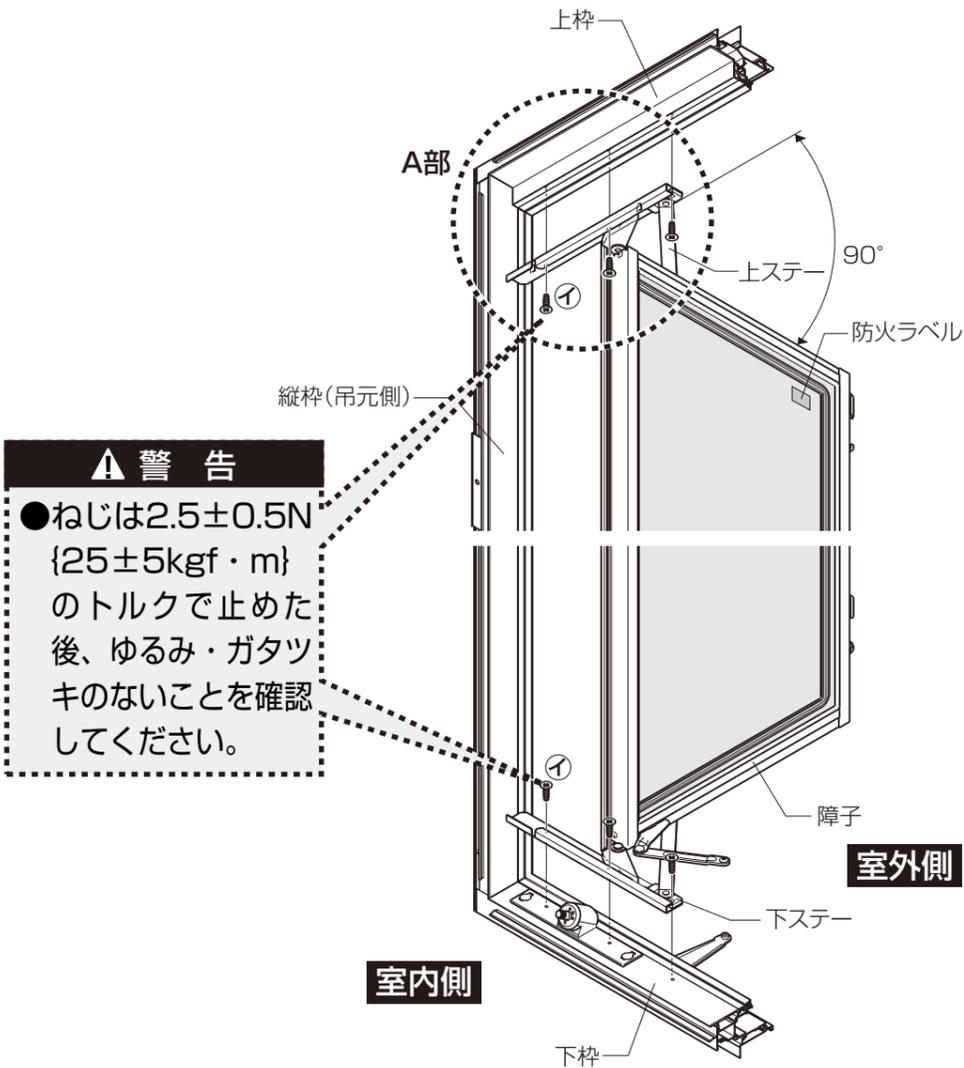
<b>■サッシ枠の フクレ・ツツミ</b>  <table border="1"> <tr> <td>L2-L1</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1.5</td> </tr> </table>	L2-L1	A	3	1.5	<b>■サッシ枠 対角差</b>  <table border="1"> <tr> <td>C</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> </table>	C	2	<b>■サッシ上下枠の 内ソリ・外ソリ</b>  <table border="1"> <tr> <td>L1-L2</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </table>	L1-L2	D	3	2	<b>■サッシ枠の ねじれ</b>  <table border="1"> <tr> <td>F</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> </table>	F	2	<b>■サッシ枠の 室内外のソリ</b>  <table border="1"> <tr> <td>H1</td> <td>H2</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	H1	H2	1	1
L2-L1	A																			
3	1.5																			
C																				
2																				
L1-L2	D																			
3	2																			
F																				
2																				
H1	H2																			
1	1																			

## ■部品・ねじ一覧表

記号	①	②	③	記号	④	⑤
姿図						
	薄平タッピングねじM4×10	トラス小ねじM4×4	スクリー釘φ2.1×32	ハンドル	丸木ねじ φ3.5×25	
使用部位	ステー	オペレーター	枠	オペレーターハンドルセット	躯体止めブラケットセット	

## ■障子・ハンドル取付け

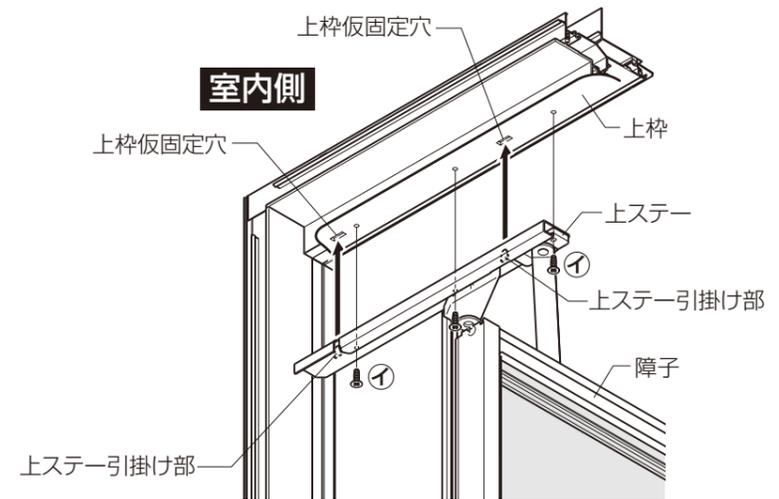
- ①障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
  - ②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2箇所)(A部参照)
  - ③下ステーを下枠にのせます。
  - ④下ステーのねじを最初に取り付けます。(障子が仮止めされます。)
  - ⑤残ったねじをすべて固定します。
- ※逆の手順で障子を取外せます。



### ▲警告

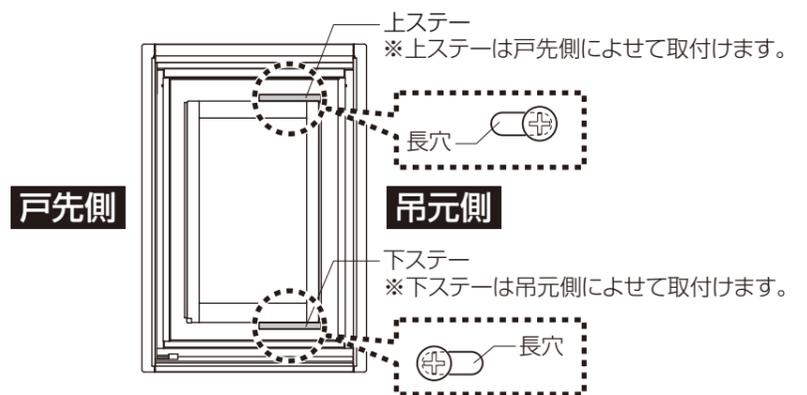
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ■A部詳細図

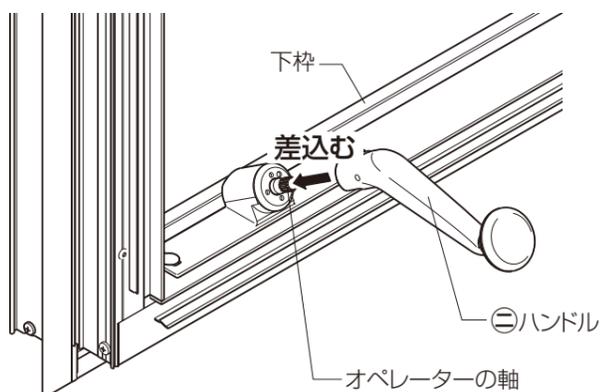


### ■障子の取付け位置

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は下図のように位置決めしてください。

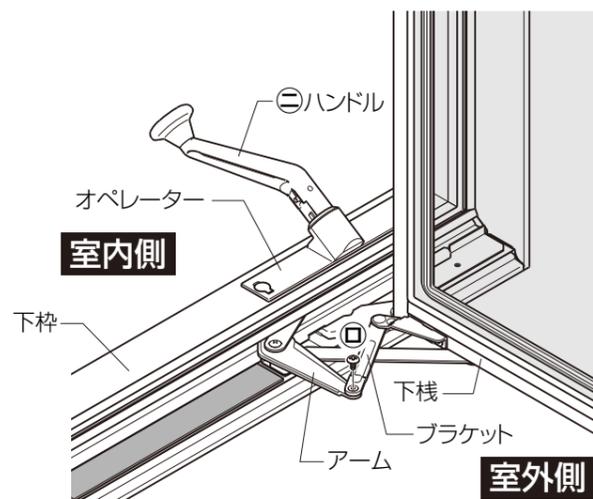


⑥ハンドルをオペレーター軸に差込みます。



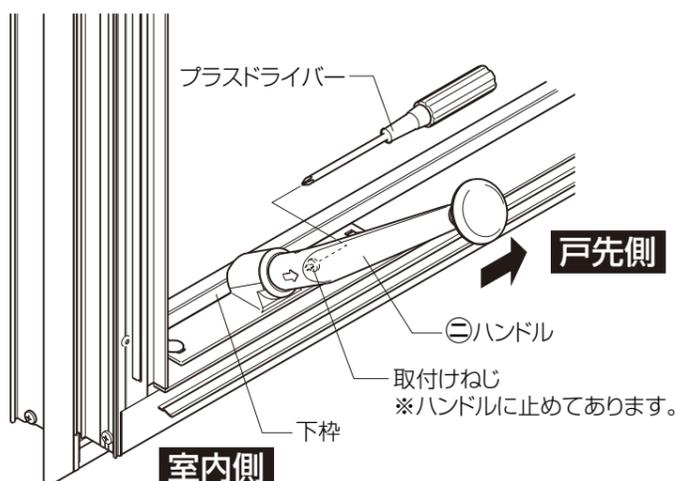
⑦ハンドルを回し、オペレーターのアームを出します。

⑧オペレーターのアームを障子のブラケットとねじ止めします。



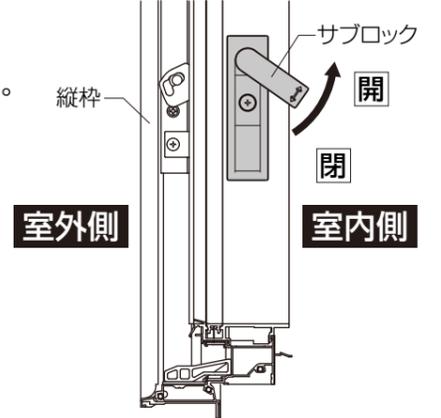
⑨ハンドルを回し障子を閉め、障子を閉めたときにハンドルが戸先側に向くように、向きを合わせ、ねじ止めします。

※ねじ締めの際は $2.0 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $20 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。



### ■サブロックの開閉位置

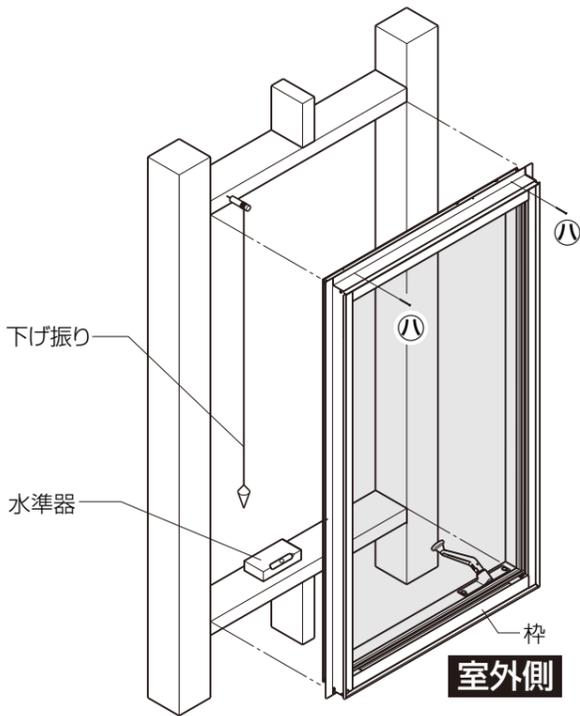
※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。



## ■ 枠取付け順序

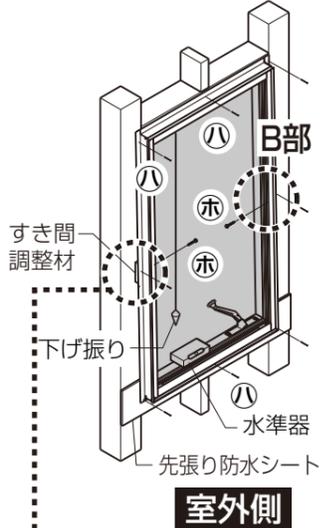
### 1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



### 2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。  
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にこぼれ、開閉不良など不具合が発生することがあります。



お願い

- ※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



### ▲ 注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

お願い

- ※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

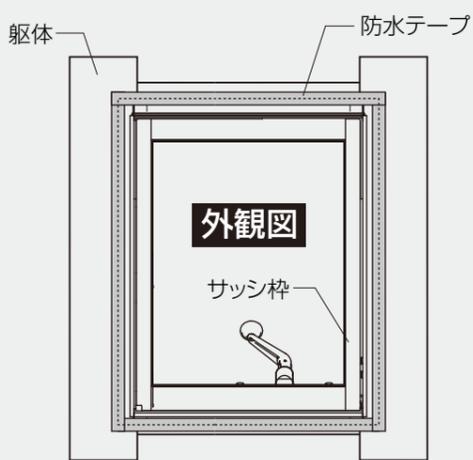
### ■ B部詳細図

- ※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締め付けてください。



### ▲ 注意

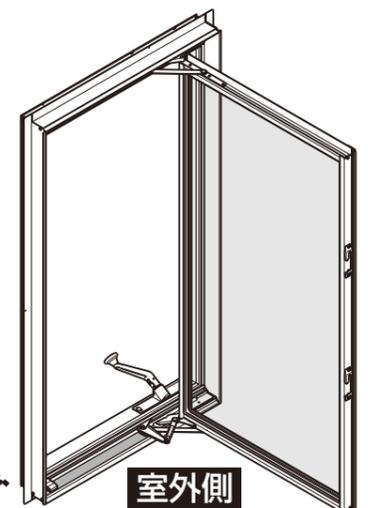
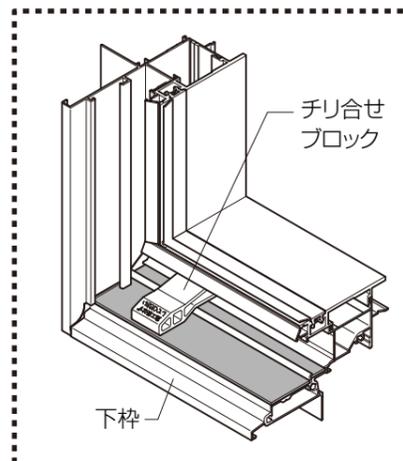
- 本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



### ■ チリ合せブロックについて

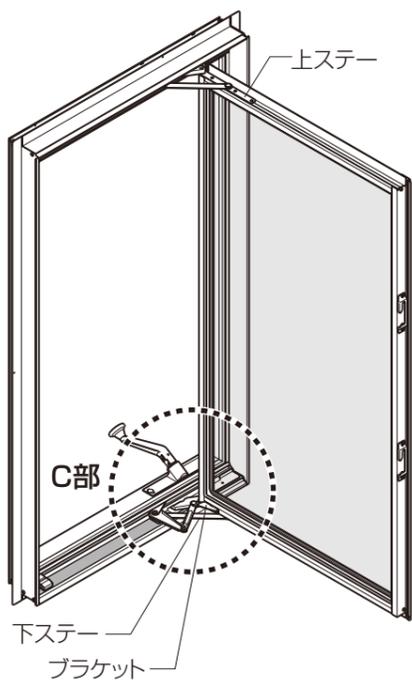
- ※縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。  
※施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。(窓の開閉に支障が出ます。)

### 【チリ合せブロック取付け位置】



## ■ 障子の建付け調整

- 障子の戸先が下がっている場合は 上・下ステーと下棧のブラケットで調整してください。



### ■ 戸先下がり調整

- ① 図1のようにステーの位置を調整してください。  
※ステーの固定穴は長穴になっていますので、固定ねじを一度ゆるめて調整します。

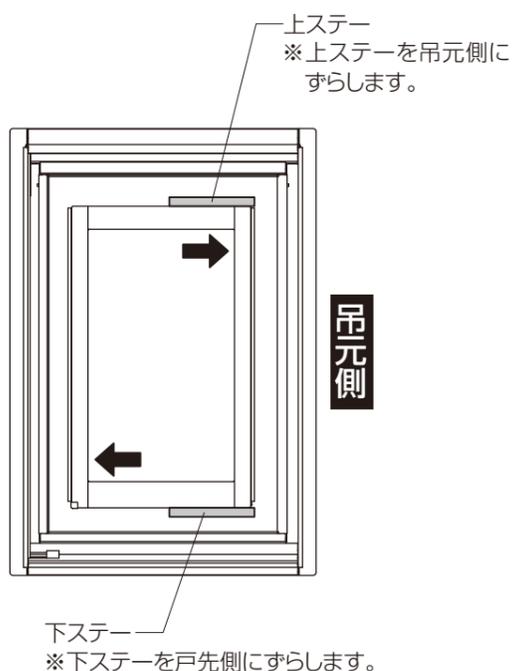


図1

- ② 図2のようにブラケットを吊元側に動かしてください。  
※下ステーを動かした分だけブラケットを動かしてください。  
※ブラケットの固定ねじを一度ゆるめて調整します。  
ブラケットは出荷時は長穴の中心で固定されています。

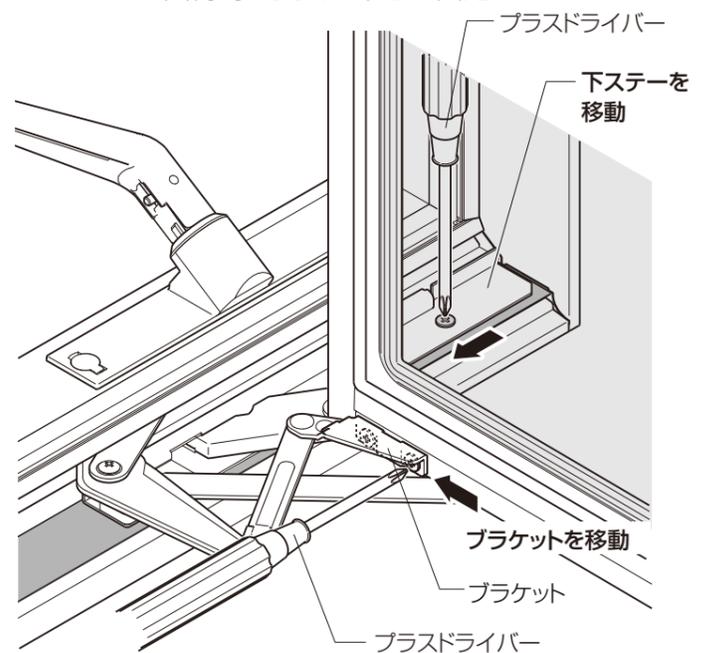
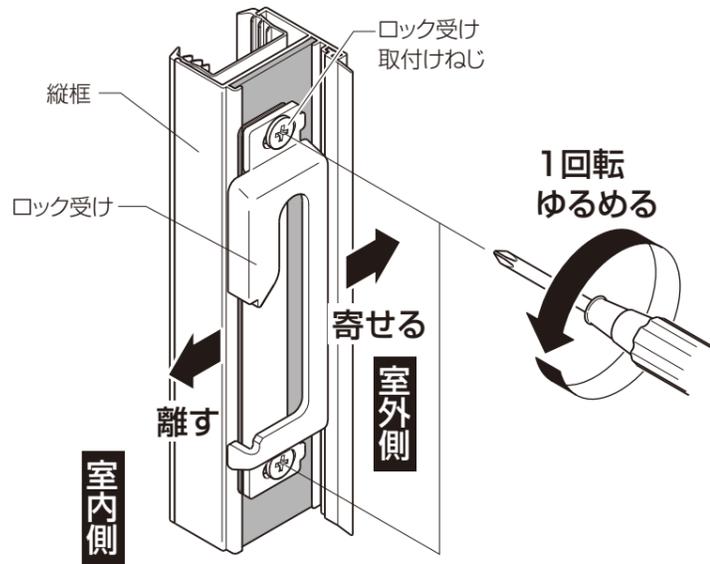


図2(C部詳細図)

## ■サブロックのかかり調整

### ■ロック受けの調整

- ロック受け取付けねじをゆるめ(上下1回転)、位置を調整してください。
- ※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
- ※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。



### ■サブロックの操作が重い場合(ロック受けと枠がこすれる場合)

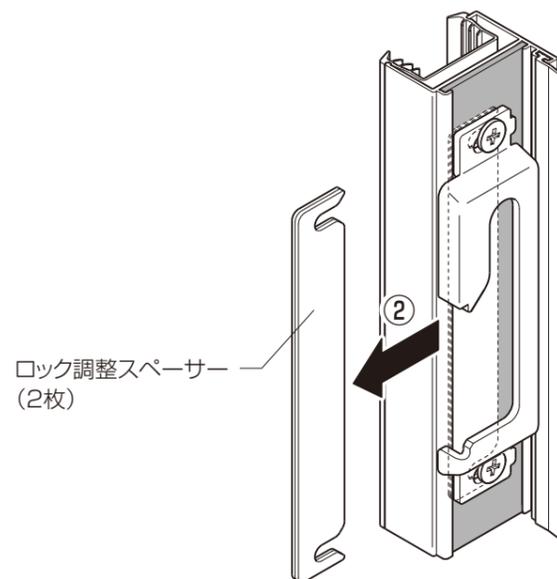
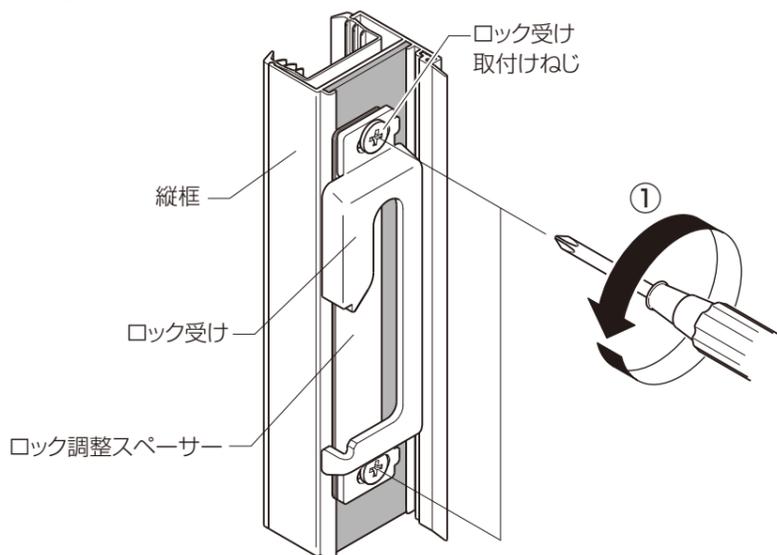
#### ●ロック調整スペーサーの調整

※ロック調整スペーサーは、あらかじめ障子ロック受け部に取付けてあります。

※①②③の作業をロック受け取付けねじすべての個所で行った後、④を行ってください。

- ①ロック受け取付けねじをゆるめます。(上下1回転)  
 ※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

- ②ロック調整スペーサーを2枚とも引抜いてください。  
 ※初期は2枚入っています。



- ③ロック調整スペーサーを「オモテ」という表示が上面にくるように1枚戻し、ねじを仮止めします。  
 ※ロック調整スペーサーを1枚外すと0.5mm、2枚で1.0mmロック受けが縦框側へ寄ります。

- ④ロック受けを室内側に位置決めし、ねじを本締めします。改善されない場合は、③でロック調整スペーサーをもう1枚外して、実施してください。

**▲注意**  
 ●必ず「オモテ」という表示が上面にくるように取付けてください。

